

ときめき人

Tokimeki bito



丸山相撲クラブ

部員募集中です。
連絡先：熊谷聖昭
☎ 090 (1934) 2298



Instagram

爽やかな秋空の下、道の駅米山登米相撲場には元気なこどもたちの声が響き渡る。

「丸山相撲クラブ」は、10年ほど前に米山相撲協会から独立して設立。江戸中期に活躍した米山町出身の第3代横綱、丸山権太左衛門にあやかり、「丸山」の名を付けた。

市内外から集まった小中学生で構成するクラブは、週2回、米山町内での稽古の他、県内の相撲チームや高校への出稽古で心技体を磨き、大会へ臨む。地元開催の「丸山杯少年相撲大会」、「ちびっこ相撲大会」では、いつも大声援を得ている。今年2月には東京・両国国技館で開かれ、世界10カ国から千人以上の小中学生が参加した少年相撲大会「第14回白鵬杯」で、力のこもった熱い取組を繰り

広げた。出場した近藤凜空さん(12)＝南方町沢田＝は「大きな大会で緊張したけれど、団体戦で2勝することができました。先生や先輩のアドバイスを聞いて、もっと強くなりたい」と力強く語った。

一時期は、部員が3人まで減少。「体が大きい人が裸にまわしをする競技」という偏った認識を払拭してほしいと呼びかけ、現在は14人で活動している。「部員数は少しずつ増え、みんな楽しんで活動しています。もっと多くの人に相撲に興味を持ってほしい」と柳淵利夫監督。コーチの熊谷聖昭さんは「こどもたちの成長を感じる瞬間や、達成感に喜ぶ姿を見るたび、活動を続けていこうと思います」と、厳しくも優しい眼差しで未来の力士たちを見守っている。

編集後記

▼登米謡曲会の取材を通して「能は演者だけではなく、観客の想像力があって初めて作品として完成するんだろな」と感じました。最近、SNSや動画配信を見ることが多くなり、想像力を働かせることが少なくなってきたかのように思えます。幽玄の世界から戻ってきた私に待っていたのは原稿の締切でした。(高橋)

▼10月27日に米山で開催された「ちびっこ相撲大会」を見に行ってきました。小さな子が楽しそうに相撲を取る姿に癒やされ、小学校高学年の部になると真剣勝負に手に汗握る展開も。相撲って、面白い！元氣をもらった一日でした。(渡邊)

▼1カ月半の研修が終わり、今号から復帰しました。8月末、半袖で研修先に出発しましたが、戻ってみると季節はすっかり進み、肌寒さにカーディガンが欠かせません。秋らしい秋はあつという間に過ぎ去り、冬の気配に戦々恐々…。体調を崩さぬよう、皆さんもご自愛ください。(添田)



登米市公式ホームページ
<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、市政に関する情報を配信)
<https://plus.sugumail.com/usr/tome/home>



登米市公式 LINE
(市政、イベント情報などを配信)
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>